

第6章

学校における ICT環境

Affairs 001-012

- 1 デジタル教材
- 2 デジタル教科書
- 3 オンライン授業
- 4 ICT環境整備
- 5 健康面への配慮

Affairs 001

デジタル教材とは

ねらい：デジタル教材の特性を生かして授業で活用する

デジタル教材は、動画やアニメーションを活用した学習など、紙媒体の教材では困難だった学習を可能にしてくれます。1人1台端末とともに、利点を生かしましょう。

1 デジタル教材のメリット

- (1) 紙の教材では理解しにくかった内容も、**視覚的に簡単に理解**できるようになる。
 - ・紙の教材 … イラストや写真を使用。動きがなく分かりづらい。
 - ・デジタル教材 … 動画やアニメーションの動きが加わり、視覚的なイメージが容易。
- (2) 電子ドリルコンで、自分の習熟度やペースに合わせて**個に応じた課題**に取り組める。
 - ・練習問題を反復して解く「ドリル」としても、デジタル教材を活用できる。
- (3) 学習管理機能で、学習時間や**学習進捗の管理**が容易になる。
 - ・子供たちの理解度の不足やつまづきを明確にし、適切な指導方法等を実践できる。

2 デジタル教材と紙教材の特徴

- ・ **デジタル教材** … 動画や音声、自分で動かしたり、調べたりすることに長けている。
 こういった特性を考えると、映像や音声を使った授業形式の学習、実際に動かしたり様々なことを調べたりすることで要点の確認や知りたいことを探すのに優れているといえる。
- ・ **紙教材** … 直接書き込んだり漢字の反復練習など自分の学習法で、勉強を進めていける。
 辞書を引きながら複数の教材を一度に開き学習、情報量が少ない分、自分で考えたり調べたりすることで学習効果が高まることも期待できる。

3 デジタル教材の活用場面

子供の視線を集め、
焦点化・イメージ化させる

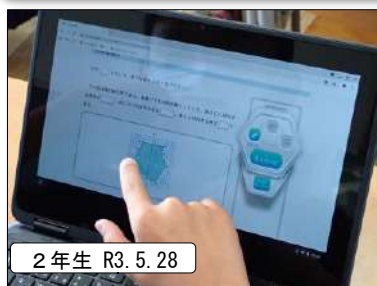
指導者用デジタル教科書を提示し、部分拡大や説明の書き込みをする。視線が上がり集中します。



1年生 R2.12.16

1人1台端末を活用して、
個別最適な学習を保障する

学習履歴型ドリルコンテンツ（くじらーニング）を活用して、個の進度に応じた学習ができます。



2年生 R3.5.28

学級の学び合いの中で
共感する雰囲気をつくる

児童の作品を教材として全体に提示する。一人一人の思考を共有して話し合いが深化します。



3年生 R4.7.19

Web上の多彩な学習動画を
授業のポイントで活用する

NHK for Schoolなどの動画を教材として、意見を出し合い、多面的多角的に議論します。



4年生 R3.7.15

ねらいに合った自作教材で
児童が効果的に学ぶ

教員の自作動画やプレゼン画面を、一人一人が自分のペースで視聴しながら、児童が主体的に学びます。



2年生 R3.10.27

教え合い・学び合いの過程で
思考のプロセスを共有する

市のホームページ「ネットde見学」から、自分が調べたい内容を選択して閲覧し、全体で共有します。



4年生 R3.5.20

Affairs 002

デジタル教科書とは

ねらい：デジタル教科書の特性を生かして授業で活用する

すでに普及している指導者用（教科書に準拠したデジタル教材）とともに、法改正により、学習者用デジタル教科書を活用することができるようになりました。

1 デジタル教科書の特徴

- (1) 紙の教科書と同一の内容をデジタル化
紙の教科書と同様に使用することができます。
- (2) デジタル機能の活用による教育活動の一層の充実
拡大縮小、ハイライト、共有、反転、リフロー、音声読み上げ、総ルビ、検索、保存など
- (3) デジタル教材との一体的使用
動画・アニメーション、ドリル・ワーク、参考資料など
- (4) 特別支援教育等における活用
 - ・視覚障害のある児童による、拡大機能や音声読み上げ機能の活用など
 - ・発達障害のある児童による、背景色、テキストの色、行間・文字間隔の変更機能の活用など



2 指導者用デジタル教科書の活用

教科書を大型ディスプレイに拡大して映すことで、子供たちの意識が集中し、効率よく授業が展開。

授業に役立つツール、映像やシミュレーションなど多種多様なデジタルコンテンツが、視覚的に分かりやすく、授業の幅を広げ「分かった!」「できた!」が増えています。



教科書の図や表を拡大して示しながら、分かりやすく説明。

教科書のデジタル教材を活用して、視覚的に分かりやすく説明。



3 児童用デジタル教科書の試行

「学校教育法等の一部を改正する法律」により、の教科書の代わりに使用することが認められた「学習者用デジタル教科書」です。

見たいところを自由に拡大、ペンツールなどを使って書き込んで記録を残す、Web ページへリンクなど多様な機能が活用できます。



デジタル教科書の拡大縮小、音声読み上げ機能を活用。

自分のペースに合わせて、デジタル教科書で自学自習。



Affairs 003

オンライン授業スタイル

ねらい：学級閉鎖や分散登校等を想定した「ふじみオンライン授業スタイル」

「2つの措置」の想定

文部科学省の8月27日付「対応ガイドライン」に基づく

I 感染拡大 … 校内で児童や教職員等の感染等が判明した場合など

学級閉鎖等

- (1) 同じ学級で、2名以上の児童の感染（濃厚接触等）が判明するなど、学級内で感染が広がる可能性が高い場合は、可能な限り早期から、学級閉鎖の措置をとる。
- (2) 学年・学校の感染（濃厚接触等）の場合は、同様に、学年・学校閉鎖の措置をとる。

この場合、感染拡大防止のため、児童も家族も、登校することは一切できない。「3つの授業スタイル」を想定したオンライン授業を実施する。

II 感染防止 … 校内の感染等は無いものの、地域等で懸念が高まった場合など

分散登校等

- (1) 令和元年度末から一斉に臨時休校となったケースのように、校内での感染拡大の兆候がない場合にも、行政の判断で休校や分散登校等の措置を取る場合がある。

児童（家族）や教職員等に感染等がない場合には、完全な休校は考え難く、学級の三密を避けるための分散登校（グループ毎に授業日や授業時間を分散するなど）が想定される。この場合、感染防止策を徹底した上で、児童や家族も、限定的に登校することができる。

「3つの授業スタイル」の想定

同8月25日付「基本的対処方針等」に基づく

I デジタルスタイル

II ハイブリットスタイル

III アナログスタイル



教室の日常的な授業の再現

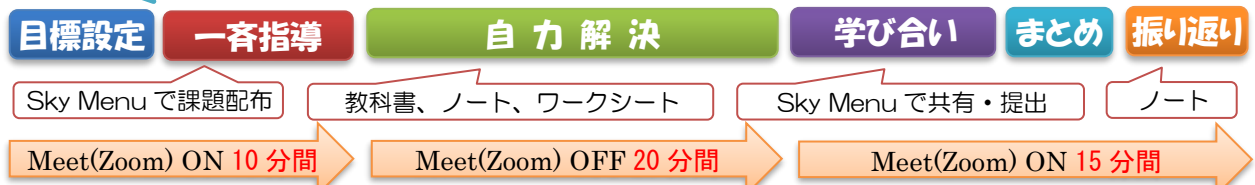
- 通常の時間割を基本とする。毎時間、出欠確認及び健康観察を実施する。
- 児童にとっても、教員にとっても、デジタルで実施する困難さやストレスを軽減するために、可能な限り、教室の授業と同じスタイルで実施する。
 - デジタル：Meet (Zoom) は、先生の指導、児童の発表や話し合いの場面で利用
Sky Menu は、互いの画面やノート等を見合う学び合いの場面で活用
 - アナログ：教科書、ノート、ワークシート等、教室と同じように紙と鉛筆を使用
- 全く登校できない状況の場合は、「完全オンライン授業」とし、Meet や Zoom とともに、Sky Menu 等を活用して、課題等の配布や提出は、全てデジタルで実施する。
- 中休み、昼休み、給食の時間（自宅の児童のみ）は、児童同士の自由な会話等ができる。

ポイント

- ・通常の授業よりも、自力解決（個人学習）を長く設定し、タブレット画面を長い時間（15分間を上限とする）注視しないよう授業展開を工夫する。
- ・話し合い活動、ふりかえりは、必ず設定し、児童の主体的な学びを保障する。
- ・学習したノートやワークシートなどは、登校時もしくはクラウドで必ず提出し、先生が確認、評価してから、返却する。

45分間の授業の構成

基本例



Affairs 004

オンライン授業試行 第一回 の実際



Classroom

〔実施の概要〕

- 実施日時 令和3年9月2日（木） 放課後 14:00 ~ 14:30
 教育課程 教育課程外の教育活動（全員参加。さくら学級は別途実施。）
 実施方法 学校 ⇄ 児童の自宅 オンラインで結ぶ
 学童保育の児童は、教室を借りて、個別に実施
 実施内容 Google Meet … 映像を通しての会話
 Google Classroom … アンケート調査の受け渡し
 その他、学年や学級に応じて工夫

全学年 Google Meet で コミュニケーション

1～3年生は、夏休みにタブレットを活用したり、授業で利用しているものの、家庭から自分で接続してオンラインでつなげるのは今回がはじめてです。
 そのため、事前に何度か練習して今日を迎えました。
 ほとんどの児童が円滑に接続し、楽しく会話できました。



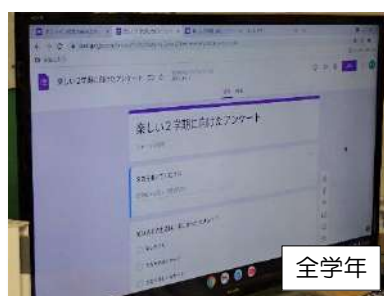
2年生



4年生

全学年 Google Forms で アンケートを提出

試行中で、全学年で「楽しい2学期に向けて…」と題して、Forms を活用したアンケートを実施しました。配布、受け取り、回答、提出まで、すべてオンラインでできました。
 2学期当初の一人一人の心の変化を見取ります。右のクイズは、事前練習の様子です。



全学年



1年生

学童保育 学校内で試行しました

学童保育に通っている児童も多く、早い時間は帰宅できないため、学童の活動として校内の教室を借りて実施しました。
 1教室で複数名が接続するため、不都合もありましたが、学級閉鎖等の場合は学童にも通えないので、1人で操作するよい練習の機会となりました。



1年生



2年生

高学年 オリパラの集大成を発表

4～6年生は、夏休み中に、Sky Menu の発表ノートを活用して、オリパラの集大成に取り組みました。各自がまとめた資料を、授業でそれぞれ発表していましたが、本日の試行の時間に、その続きの発表をしていたクラスもありました。試行というよりも授業そのものです。



午前中の授業



放課後のオンライン試行

4年生以上は、夏休みにも様々実施しました。

Affairs 005

オンライン授業試行 第二回 の実際



Zoom

〔実施の概要〕

- 実施日時 令和3年9月6日（月） 放課後 14:00 ～ 14:30
 教育課程 教育課程外の教育活動（全員参加。さくら学級は別途実施）
 実施方法 学校 ⇄ 児童の自宅 オンラインで結び
 学童保育の児童は、教室を借りて、個別に実施
 実施内容 Zoom … 映像を通しての会話
 Sky Menu … 課題の配布、回答、提出
 その他、学年や学級に応じて工夫

低学年 めっちゃ楽しかった Zoom で コミュニケーション

多くのご家庭で在宅してくださり、ご支援いただきました。

1年生は、Zoomの中で操作方法をご教授くださった方もいらして、お力添えに感謝申し上げます。

2年生は、三択クイズや国語の「雨のうた」の「かさで〇〇かさのうた」の〇〇に思い思いの言葉を書き込んでいました。



1年生



2年生

中学年 ローマ字入力も バッチリ 課題の提出も OK

4年生から習うローマ字を、オンライン授業に備えて3年生も入力できるようにしました。Zoomアプリは英文ですが、説明書を見ながらほぼ全員がログインできました。

Sky Menuの「コグトレ」も慣れたもので、ストレスなく円滑に使いこなしていました。



3年生



3年生

5年生 社会科「漁港で働く人たち」の授業

Zoomに入れなかった児童がいたため、途中からMeetに全員で切り替えました。臨機応変な対応が不可欠です。

授業の試行では、社会科の学習をしていました。普通の授業と同じように、オンライン授業でもデジタルとアナログの使い分けが重要だと感じました。



5年生



5年生

6年生 Zoom も Sky Menu も円滑に使いこなす

アプリではなく、ブラウザからZoomに入った児童も多かったようです。Zoomの中で児童同士がユーザー名の変更や画面設定を教え合い、解決していました。

Sky Menuでは、先生からの質問を受取り、回答、提出していました。夏休みから継続しているのでかなり慣れていきます。



6年生



6年生

Affairs 006

オンライン授業の実際① 令和3年度

お家でオンライン

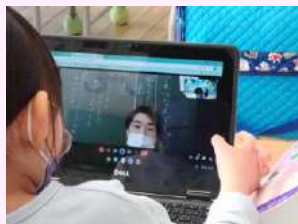
R3.2.10 第1学年

国語

- 1年生のオンライン授業が始まりました。初日は、雨の中、学童から、職員の方に引率していただき再登校。2学期の3回の試行の成果か、まるでいつもの教室の授業のようにスムーズでした。



- お家でも、教室でも、同じようにオンラインに参加しています。子供たちにとっては、何の違和感もないようです。



詩の表現の工夫

R3.2.7 第2学年

国語

- 教室の授業と同様に、動画による詩の朗読を聞いて、お気に入りの詩を選び、表現の工夫等、その理由を分かりやすく相手に伝える学習をしていました。



- SkyMenuのポジショニングで一人一人の感じ方を共有しました。コメント機能も活用して、どうして感じたのかなど、全員が自分の考えを言葉で表現して伝えていました。



私たちの学校じまん

R3.2.8 第3学年

国語

- 自慢だと思うものを選び、はじめ・なか・終わりの組み立てを、班のメンバーで分担して、協働して発表する学習です。ジャムボードを活用して一人一人が考えた自慢を班で分類していました。



- タブレットの他、教科書やノートの使い方は、いつもの授業と同じです。デジタルとアナログの良さを使い分けています。



文の長さによる分かりやすさ

R3.2.15 第4学年

国語

- 教室の黒板とプレゼンの画面を使い分けて、オンライン授業の個別画面の利点を生かして分かりやすい授業を組み立てていました。



- 子供たちは教室にいる感覚でオンライン授業に取り組めたようです。先生は、現在40人を超える学級ですが、オンラインの方が、児童一人一人の取組の様子や姿勢がよくよくわかる利点もあったようです。

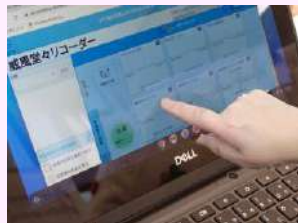


コロナ禍のリコーダー

R3.2.3 第5学年

音楽

- 校内では、歌唱やリコーダーができないので、週1回、ご家庭で集中して取り組んでいます。今日の授業も、卒業式に向けて「威風堂々」のリコーダー演奏に真剣でした。



- 今回は、数人ずつの組み合わせで聴き合ったり、双方向の利点を生かしたりしながら、クラスの一体感を味わっていました。



コロナ禍の合唱

R3.2.4 第6学年

音楽

- 先生は音楽室で、iPadの伴奏を流し、キーボードでリズムを取り、画面の子供たちの様子を見ながら、効果的に指導しています。



- 子供たちは、ご家庭で、換気をしながら、三密や飛沫感染を回避することができ、大きな声で思いっきり歌うことができ、どの子も生き生きとした表情で取り組んでいる様子でした。



Affairs 007

オンライン授業の実際② 令和4年度

▶ はじめてのオンライン授業

R4.7.14 第1学年

国語

- 入学して3か月余り、タブレットの活用は、まだ慣れが必要な段階ですが、はじめてのオンライン授業にチャレンジしました。



- 学童に通う子供たちは教室で実施し、補助の先生方もいらしたのでスムーズでした。ご家庭では、学校の説明不足で接続までに時間を要してしまい、準備段階の大切さを痛感しました。



▶ オンラインで音読

R4.7.7 第2学年

国語

- 2年生になって初めてのオンライン授業を実施しました。3学期には毎週実施していたので、子供たちは戸惑うこともなく、円滑に授業に集中していました。



- 先生からの質問に対しても、音読の練習も、思考ツールの活用も、通常の授業のように一生懸命でした。1年生と同様、学童の子供たちは、教室で実施です。



▶ 振り返りカード

R4.7.11 第3学年

理科

- 講師の先生にオンライン授業を実施していただきました。子供たちはオンラインにも慣れてきているため、とてもスムーズでした。



- 理科の授業では、1学期にたくさんの実験や観察を行いました。それを振り返って、自由な形式でメッセージカードにまとめています。一人一人の活動にしたため、オンラインで十分取り組みました。



▶ 家で思いっきり歌おう

R4.7.11 第4学年

音楽

- 音楽の授業です。今年度になってから、教室でも歌えますが、マスクは必須です。オンラインで子供たちはマスクを外して、生き生きとした表情で思いっきり歌っていました。



- コロナ禍では、学校でできること、家でできること、それぞれの良さを生かした学習を工夫していくことが必要です。



▶ 色を混ぜてみよう

R4.7.11 第5学年

図工

- 色づくりの基本を家庭で学びました。必要な準備は学校で用意。他の人の視線を気にすることもなく、自分の世界に浸って集中して取り組みました。



- 作った色の紹介カードも発表ノートを活用して、オンラインで提出。授業は45分でしたが、オンラインが終わった後も、子供たちはそれぞれ続きを楽しんだようです。



▶ 生卵を立てられるか

R4.7.8 第6学年

理科

- 講師の先生の理科です。実験材料は、各家庭の生卵！先生からの問い「あなたは卵を机の上に立てることができると思いますか？」から、仮説と検証の始まりです。



- もう夢中です。子供たちの自由な発想を引き出しながら、探究的な学習への興味関心を誘っていました。夏休みの課題の入口です。



Affairs 008

校内のICT環境整備

ねらい：校内の環境整備と高速ネットワーク（オンライン）活用

【パソコン機器】

Student LAN (Local Area Network) 接続
校内で活用

Wi-Fi 接続
自宅等で活用

GIGAスクール LAN
校内で活用



パソコン室
〔40台+教員用1台〕

パソコン端末



全教職員
〔令和4年8月更新〕

校務パソコン



全教職員
〔令和3年度から
本校独自に導入〕

i P a d mini



全児童+全教員
〔管理職、養護教諭、
講師等を除く〕

タブレット端末

令和2年度当初は、各教室にブラウン管TVが置いてある状況だったため、毎年整備に努めているが、急速に学級増が進んでいるため後追いの状況である

PTA 予算で全児童分の
タブレットケースを購入
安全に持ち帰りができる



校内予算等で毎年購入し
4年度までに設置完了予定

50型 TV



全通常学級に設置
〔令和2年度までに
6学級分設置〕

校内予算で毎年購入し
5年度までに設置完了予定

40型 TV



全さくら学級に設置
〔令和元年度までに
3学級分設置〕

校内予算で毎年購入し
6年度までに設置完了予定

50型 TV



全特別教室に設置
〔令和元年度までに
各階に1台配置〕

校内予算で毎年購入し
6年度までに設置完了予定

実物提示装置



全教室に設置予定
〔令和元年度までに
4教室分配置〕

【入出力装置】

本校独自の導入（校内予算で計画的に毎年整備を続けている）

【i P a d mini】 全教員が常に携帯し、校務と学習指導の両方に活用

- 校務では、紙資料を廃止し、教員間の情報共有手段（文書、画像、動画等）として活用
- 学習指導では、机間指導で児童のノートや作品等を撮影し全体で共有したり、教科書のQRコードやNHK for Shool など教育資料・動画等を投影したりして活用



【実物提示装置】 全教室に設置し、学習指導に活用

- 教員の手元（教科書、資料、演示等）を拡大提示し、視覚的な指導に活用
- 児童が書いたノートやワークシートをそのまま拡大提示し、児童自身が説明したり、思考過程を共有したり、教え合い、学び合いのツールとして活用



Affairs 009

学校のオンライン活用例 その1

▶ えいごであそぼう

R2.5.18 3年生

試 行

- 昨日から毎週日曜日、3年生の希望者を対象とした「えいごであそぼう」が始まりました。本校の卒業生が、ボランティアで行うオンライン授業の試行です。学校の取組ではありませんが、新しい学びの形につながるかも知れません。
- 休校期間の緊急的な取組で始まりましたが、令和3年度末まで続きました。参加した子供たちにとって貴重な学びとなりました。



▶ 全校朝会

R2.9.28~

校内配信

- 夏休み中に校内の環境を整え、今日からiPadを活用して、教室の大型TVでオンライン朝会を始めました。リアルタイムに映像や音声で、相互にやり取りをするものです。
- プレゼン画面や動画など視覚的な資料を大型TVに提示でき、分かりやすく伝えられることや、教室の落ち着いた環境の中で集中して聴くことなどのメリットがあります。



▶ 避難訓練

R2.9.28~

不審者監視

- 第一発見者の笛の合図で児童管理に当たらない教職員が現場に急行し不審者に対応。児童らは各教室に身を隠します。
- これまでは教室との連絡方法がなく、お互いの様子が分からず不安でしたが、これからはiPadのZoomを活用し、校長室ですべての教室の状況をリアルタイムに確認しながら対応するとともに、双方向で安全確認などの連絡も取れます。



▶ 体育授業発表

R2.10.12~

学校行事

- 今年度の運動会は中止で体育の授業参観となりました。当日も人数制限が必要とあるため、練習風景からオンラインで配信することにしました。
- お互いに初めての試みでしたが、試行を重ねていきスムーズに送受信ができるようになると思います。ご覧いただいた保護者の皆さまからは良い評価をいただきました。



▶ まち探検

R2.10.15~

行事配信

- コロナ禍で保護者の皆さまにご来校いただく機会が激減し、学校の様子が見えづらくなっている中、なるべく多くの機会をとらえて配信しています。
- 2年生では「まち探検」の様子を保護者の皆さまへ配信しました。先生やお友だちのお話の聞き方、歩き方などとても上手で、けじめのある立派な2年生の姿を見せてくれました。



▶ 行事説明会

R2.10.27~

保護者説明会

- 令和2年度の日光移動教室に替わる「フォレストイン昭和館宿泊学習」に向けて説明会を開催しました。半数近くの保護者の皆さまにご参会いただくとともに、オンラインにも4~5名の方にログインしていただきました。
- それ以降令和3年度の移動教室の説明会はオンラインを主とし、対面と遜色なく円滑に実施しています。



Affairs 010

学校のオンライン活用例 その2

▶ 道徳授業地区公開講座

R2. 11. 5～

授業参観

- 今年度の道徳授業公開講座は、今日からの授業公開（少人数予約制）に合わせて、オンラインで実施させていただいています。
- 来校された方を含めると100名近くの参観を戴いたこととなります。道徳以外の授業も、毎時間2～3名程度の参観とさせていただきました。保護者会の際に、様々意見交換させていただきました。



▶ 児童集会

R2. 11. 9～

校 内

- 本日のオンライン児童集会では、集会委員の児童が体育館の舞台上で、各教室とジャンケンです。あいこ負けは座ります。3回戦、各回で勝ち残った人に賞状が渡されました。
- その他、委員会からの報告や、「ふじみをよくする運動」の各学級目標と取組の発表など、児童集会の多くがオンライン実施となっていました。



▶ 昭和館宿泊学習

R2. 11. 11～ 6年生

宿泊学習

- 冴えわたる青空の下、昭和館宿泊学習に出発しました。私たちが住む町、昭島市をもっと好きになる『昭島市再発見』一泊二日の旅です。2日間で30km以上市内を歩きました。
- 昭島市ならではの様々な体験を通して、地元の良さを再発見している様子を、保護者の皆様に、随時配信し、貴重な体験をリアルタイムで共有しました。



▶ 始・終業式

R3. 1. 8～

校内配信

- 3学期の始業式から感染症拡大防止のため、始業式や終業式でもオンラインを活用し始めました。できる限り全校児童が一堂に会して実施することが望ましいのですが、感染防止を最優先しています。
- その時々に応じて、体育館や学校図書館、あるいは校長室から配信します。体育館から児童が校歌の伴奏をして、教室で歌ったりもしました。



▶ 入学説明会

R3. 1. 25～

保護者説明会

- 御入学に向けた説明会を開催しました。感染症拡大防止のため、原則、オンラインでご参加いただき、時間も大幅に短縮しましたが配布資料等を通して、必要なことはお伝えすることができたようです。
- ほとんどの方はオンラインで参加され、会場に来られた方は10数名でした。密を避け、広々と座っていただきました。



▶ 6年生を送る会

R3. 3. 5

校 内

- 「6年生を送る会」「1年生を迎える会」もオンラインにせざるを得ません。
- 各学年が創意工夫したメッセージは、6年生への感謝の気持ちが満載です。各教室では各学年の発表のたびに、自然と手拍子や拍手が沸き上がりました。ソーシャルディスタンスと反比例するように、全校児童の心の距離は接近し、ひとつになりました。



Affairs 011

学校のオンライン活用例 その3

▶ オンライン de 離任式

R3. 4. 28

他校から

- 5校時は、オンラインで離任式を挙行しました。緊急事態宣言中のため、お招きできなくなり残念でしたが、感謝の気持ちを伝えるとともに、離任された先生方からお話を伺うことができました。
- 子供たちに向けたお話が心に沁みました。ありがとうございました。〈上〉舞台上で挨拶。〈下〉オンラインの画面。教室の様子も双方向で映っています。



▶ 体育集会

R3. 6. 2~

校内

- 体育集会も、対面が叶わない場合には、オンライン配信をしています。(上)体育委員がスポーツテストの実施方法を実演して説明しています。(下)大縄跳び集会の実施方法を実演して説明しています。
- また、室内で出来るコーディネーショントレーニングを体育館から配信して、各教室でトレーニングしたりしています。



▶ 日光・八ヶ岳移動教室

R3. 7. 17~

宿泊学習

- 夏休み直前の土曜日からの実施となった日光移動教室では、Zeemでの保護者配信とともに、タブレットを家庭に持ち帰っていた4・5年生とも、土日の夜間にTV会議機能でつながりました。
- 3日目は、日光から全校朝会に参加したり、昼間の活動を学校の児童が視聴したり、移動教室の実際を下級生が学びました。



▶ 夏休みどう過ごしている？

R3. 7. 21~

家庭と

- 令和3年度の夏休みは、タブレットを家庭に持ち帰り、各教科の課題（宿題）や担任の先生との連絡等に活用しました。
- 高学年は、発表ノートにオリンピック観戦の画像や感想などを書いてまとめたり、Classroomで担任の先生とつながったりしました。コロナ禍の夏休みも子供たちは安心して過ごせました。



▶ 国会体験プログラム

R3. 9. 18

行事配信

- 参議院特別体験プログラムでは、ロールプレイ形式で模擬体験し、国会についての理解を深めました。
- 体験プログラムは、5年生の教室や、保護者の皆様にもオンラインで配信しました。子供たちの活躍ぶりや、国会審議の様子が伝わったと思います。もちろん教室から参加することはできませんが、臨場感を味わうことができました。



▶ バーチャル社会科見学

R3. 11. 12 5年生

日産自動車

- 日産自動車のオンライン工場見学に参加しました。最新の車の製造工程や人と環境にやさしい車づくりについて学びました。車の部品作りから出荷まで、動画や資料を使って、双方向で分かりやすく学ぶことができました。
- 子供たちの活発な質問に一つ一つ丁寧に教えてくださり、とても有意義な時間となりました。感謝



Affairs 012

学校のオンライン活用例 その4

▶ バーチャル社会科見学

R3. 11. 30 2年生

多摩動物園

- 多摩動物公園は団体見学を一時中止しているため、オンラインでの見学となりました。楽しみながらたくさんのお話を学ぶことができました。
- 教室で様々な画像や動画を見ながら、飼育員さんから、直接お話を伺うことができました。いつもの遠足も楽しさいっぱいですが、いつもは聞けない多彩なお話を伺うことができ、子供たちは興味津々。



▶ オンライン授業配信

R4. 1. 20~

出席停止

- 3学期以降、本校でも感染が判明したり、感染防止による出席停止の児童が出てきました。希望があればオンラインで授業の様子を配信しています。
- 配信の方法は授業形態により様々ですが、先生の指導を中心に、子供たちの活動の様子を見たり、班活動などでは一緒に加わったりしながら、基本的に双方向で授業に参加しています。



▶ きこえとことばの教室

R4. 1. 26

学校間

- 今日は「言葉のことに ついて、友達の考えや気持ちを聞いてみよう」というテーマで、楽しみにしていたグループ活動です。オンラインで実施しました。
- 一人一人の困り感や不安に思っていることを、率直に質問し合いました。「そうだねえ」と共感できることが多く、安心して会話を重ねていました。プレゼン画面を見ながら会話しています。



▶ 伝えていこう

R4. 3. 16 6年生

出前授業

- 卒業式で歌う「伝えていこう」は、被災した石巻の高校生らを応援しようと、ジャズピアニストの遠藤征志氏が作詞・作曲したものです。今年の卒業生のために遠藤氏から楽曲を使わせていただきました。
- 今日は遠藤氏とオンラインで6年生の合唱を聴いていただき「音楽には力がある」など感想やアドバイスをいただきました。



▶ 市民図書館電子書籍

R4. 7. 8~

関係機関

- 今夏から電子書籍サービスが利用できるようになりました。今日は、各自の図書カードのIDでログインしてパスワードの変更など初期設定を完了しました。
- さっそく、電子書籍を借りて読んでいます。そして電子絵本を借りた児童が、「朗読してくれるよ!」と驚きながら、近くの子に伝えていました。多様な読書への入口となりそうです。



▶ 個人面談

R4. 7. 21~

保護者と

- 夏休み直前から感染症が全国的に爆発的に拡大してきた中での個人面談でした。各教室では、感染防止を徹底した上で、実施させていただきました。
- 保護者の方が海外に赴任中など、特別な事情がある場合はオンラインで実施しました。対面と遜色なく実施することが可能で、今後はオンラインも選択肢に入れることができそうです。



Affairs 013

児童の健康面への配慮①



ねらい：児童の健康に留意してICTを活用する

文科省ガイドブック

ICTの活用には、①目の疲れなど視覚系への影響、②姿勢などの筋骨格系への影響、③疲労への影響、④心理的な影響を十分考慮する必要がある。

そのため、教員や保護者など、指導者が、(1)教室(家庭)環境、(2)児童の姿勢、(3)使用時間などに配慮しなければならない。

以下、文部科学省「児童生徒の健康に留意してICTを活用するためのガイドブック」より抜粋

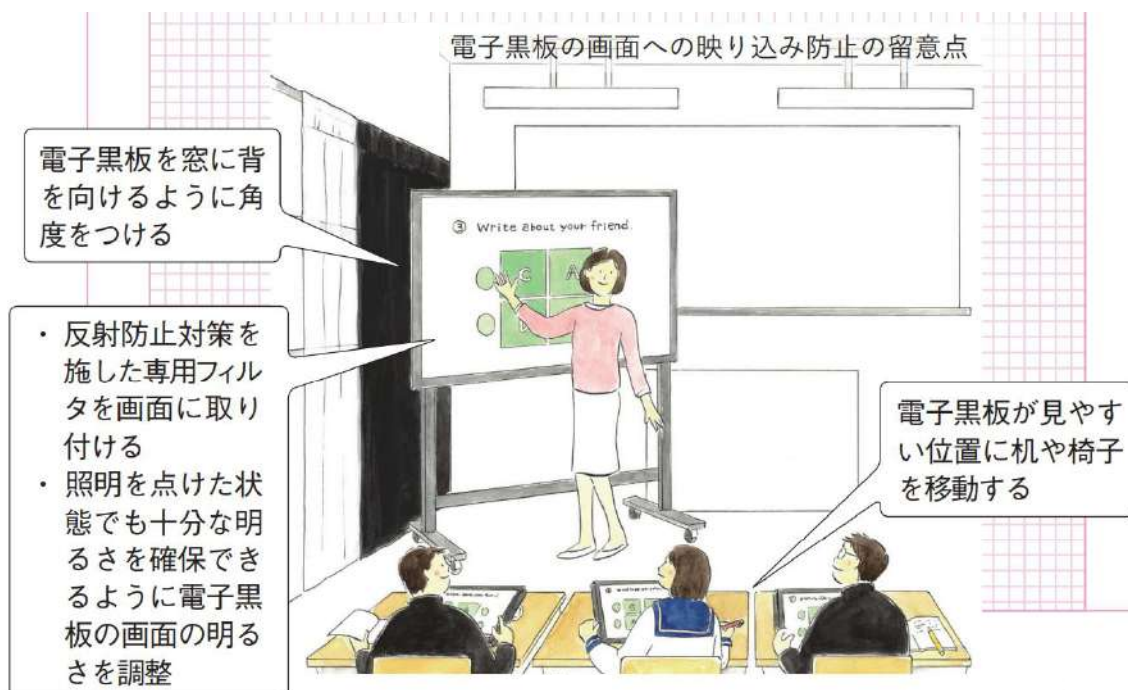
1 教室環境の調整

カーテンによる窓からの映り込みの防止や、照明環境の工夫により映り込みを防止することが大切です。



2 映り込みの防止

季節や時間帯、教室の所在階によって電子黒板の画面の反射の具合は変化するため、教員は反射を極力抑えるよう配慮する必要があります。



Affairs 014

児童の健康面への配慮②

ねらい：児童の健康に留意してICTを活用する

3 児童の姿勢



図10 タブレットPCを利用する際のポイント



姿勢に関する指導

- 児童生徒の姿勢が悪い場合は、タブレットPCの置き方を工夫しても、画面が見えにくいいため、まずは児童生徒の姿勢がよくなるように指導します。
- 机と椅子が児童生徒の体格に合っていないと姿勢が悪くなるので、机と椅子の高さを児童生徒の成長も考慮して適切に調整します。
- 教科書、ノートに加えてタブレットPCを使って授業を行う場合、机の面積が狭いため児童生徒が無理な姿勢で作業を行うことがあります。授業の進行に応じて、利用しない教材・教具を随時片づけるように指導します。

画面への映り込みの防止

- 児童生徒の姿勢がよい場合は、児童生徒の視線とタブレットPCの画面を直交する角度に近づけることで画面が見やすくなるため、そうなるようにタブレットPCの角度を調節するよう指導します。
- 座席位置によって照明の具合が異なることから、画面に照明が反射しないように、児童生徒が自分でタブレットPCの画面の角度を調整するよう指導します。
- タブレットPCの画面に反射防止用フィルタを取り付けることにより、画面の反射を軽減できるだけでなく、破損時の安全性の向上も図れます。

使いやすさへの配慮

- 画面の明るさを設定して画面を見やすくするなど、児童生徒自身で操作性の向上を図れるように配慮します。
- 発表、グループ作業などにより児童生徒が同じ姿勢を長時間続けないようにする、長時間にわたり電子黒板やタブレットPCの画面を児童生徒が注視しないようにするなど、目や身体の疲労を軽減するように授業の実施方法を工夫することも考えられます。

4 使用時間 富士見丘小学校のルールより

- ① 使用時間は、学校がない日 8時～16時 学校がある日 16時～18時
- ② 正しい姿勢で、画面から30cm以上は顔を離して使いましょう。
- ③ 適切な明るさの部屋で使いましょう。
- ④ 30分に一度は遠くを見るなど、ときどき目を休ませましょう。

5 ビジョントレーニング

数字探し



文字合成



間違い探し



富士見丘小学校

